

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4674800117号
法人名	有限会社 ファースト・ケア
事業所名	グループホーム いこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野町大久保1432番地1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成25年2月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個人の思いを尊重し、家族の方と連携を取りながらケアに努めている。また、色々な行事を取り入れて、1日遠足・利用者様の体調など負担が無いように努め、出来るだけ良い時期に合わせてドライブも含め地域の催しなどに積極的に参加して、色々な方々との交流を図っている。日々の業務も大事だが、なるべく利用者様とゆっくりお茶をしながら話をしたり、体調など配慮した上で、散歩に出かけたり、利用者様と職員と一緒に和む時間を過ごせる環境作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・基本方針である「思いやりの心」「利用者に合わせて介護」等を掲げ、利用者が穏やかな日々を過ごせる環境作りに努めている。
- ・ホームは、高校生や看護学生の実習の受け入れを行ったり、園児との交流・踊り等のボランティアなど、地域との交流やつながりを大切にしている。
- ・家族等へ事業所から、「いこいだより」で、利用者毎に写真を撮り送付するなど、日頃から家族と協力して支援できるように関係づくりに努めている。
- ・協力医療機関との医療連携ができており、往診や緊急時の対応が可能である。ホームに看護師を配置して、利用者や家族にとって安心できる生活環境になっている。
- ・運営推進会議は、避難訓練日に合わせて行う等の工夫をしている。会議では、事業所の状況やヒヤリ・ハット・外部評価結果の報告等を行い、地域の理解と支援を得るために努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員で法人の理念とホームのケア理念を掲げている。玄関・廊下・休憩室などに掲示して、日々のケア実践に取り組んでいる。	理念は事業所内の目に付き易い場所に掲示し、パンフレットや「いこいだより」にも載せている。理念をミーティング等にて確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の高校生・看護学生・ボランティアの方々の受け入れをしている。また、昼食・おやつを兼ねてファミリーレストラン・ファーストフード店・地域交流の特産店に出かけたり、チャリティーコンサートに参加、併設しているデイとの交流なども連携を図っている。	併設のデイサービス利用者の地元住民の訪問や踊り等のボランティアの交流が行われている。また、地域のレストランや特産品店に出かけたり、認知症サポートについて地域住民に認知症に対しての理解に取り組んでいる。園児との交流や高校生の職場体験や看護学生の実習も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地元の高校生・看護学生・ボランティアの方々の受け入れをしている。認知症サポート養成推進の協力要請にも参加し、地域の方々に認知症をより理解して貰えるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政関係者、民生委員、自治公民館長、家族代表などの参加を得て定期的に開催している。地域の情報や災害対策のアドバイスなどを貰いながらサービス向上に生かしている。</p>	<p>会議には、家族や民生委員・市担当者・地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員等が出席している。活動内容やヒヤリ・ハット・外部評価結果等について報告し意見交換を行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者に、事業所の現状報告、相談や情報交換を行い協力関係を築ける様に取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者は、運営推進会議に出席したり、事業所から必要に応じて担当課へ出向いて報告し、指導を受けたり情報交換を行っている。また、電話で相談する等、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者様個人のケアに努め、ミーティングや勉強会などで話し合いを持ち、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入居時に事業所の基本方針を説明し、玄関に身体拘束排除宣言を掲示している。ミーティング時や勉強会で、身体拘束廃止について話し合い、利用者に応じたケアを工夫し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせずに、自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を開催し虐待について理解を深め、見過ごされる事が無い様に注意を払い防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について学ぶ機会が少なくなったが、ミーティングなどで個人のケアに必要な場合は関係者と話し合い活用できる様に支援していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、利用者と家族に説明し、家族側の不安や疑問点を尋ねて理解、納得を図っている。解約時は次のサービスが不安無く受け入れられる様に配慮している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置、面会時や家族会時に意見を聴く機会を設けて出された意見・要望については、運営に反映させられるように職員間で話し合っている。</p>	<p>利用者からは、日頃の生活の中で意見や要望を聞いたり、家族からは家族会や面会時の機会に職員の方から声をしたり、運営推進会議で要望や意見を聞いている。出された意見は、ミーティング等で話し合い「いこいたより」に掲載した写真を送付するようになった事等、運営に反映している。出された意見や要望への対応状況は、必要に応じて運営推進会議で報告している。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は運営に関する職員の意見や提案を聴く機会を設けて必要に応じて代表者に伝えている。伝えたい件を確認し反映出来る様に今後も努めていきたい。</p>	<p>管理者は、毎月のミーティング等で職員からの運営に関する意見や要望を聞いている。また、日常的にコミュニケーションをとるように心がけており、必要に応じて代表者等に報告している。勤務希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>統括が常勤しており、必要に応じて管理者は相談し代表者に伝えて貰っている。働きやすい職場づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が外部研修を受ける機会を確保し研修報告を行い共有している。事務所内勉強会では、職員の意見を取り入れ職員が向上心を持って参加出来る様に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会にも加盟し会合や研修に参加し交流を図っている。他施設の職員研修を受け入れ、お互いのサービス向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談にて生活状態を把握するように努めたり家族から今までの生活歴や本人様の興味のある事、		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前までの御家族様の苦労や経理について話を聴く様にしている。又面会時に要望などについて話を聴く機会を作り、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今までにケアマネージャーや本人、御家族との相談やアセスメントの中で必要に応じて他のサービスの検討をしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護すると言う一方的な意識でなく、介護させて頂くという気持ちや、共に暮らす家族の様な関係性を築ける様に多くの時間を用いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の思いや様子を極め細やかに伝え、職員はご本人と一緒に支える家族と同様な思いで支援していることを伝えている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域で暮らす馴染みの知人の方が訪問されたり、ご兄弟に会いに行ったり地域の方の繋がりが切れない様に努めている。デイサービス利用者様との交流を継続していけるように支援している。	友人や知人・自治会からの訪問があり、併設のデイサービスの利用者との面会もある。姉妹等に会いに行ったり、墓参りや自宅への外出についても、家族と協力してできるだけ希望に沿って継続的な交流ができるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心身の状態や気分、感情で日々変化する事もあるので、注意深く見守り、利用者様同士の関係がうまくいくように職員が調整役となって支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	面会や写真を届けたり折にふれて御家族への電話での状態を伺ったりしている。又在宅サービスを受けている方については、居宅支援事業者と連絡を取り合う事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人から聞ける言葉に加えて日々の会話からご本人の思いをくみ取り把握する様に努めている。なるべくご本人の立場に立って考えるようにしている。	利用者からは、日常の生活の中での声かけや表情等から、思いや意向の把握に努めている。家族からは面会時等で情報を得て、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有して支援をしている。困難な場合は、本人中心に話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や御家族などからアセスメントを行い、これまでの暮らしについて把握するように努めている。把握した内容は書面化して、スタッフ全員で共有できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に一人一人の一日の過ごし方や状態に目を向け、どんな事をされたか記録したり、新たに発見した事について、スタッフ全員が共有しケアに生かすようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーだけの意見にならないようにミーティングなどでスタッフとケアについて話し合ったり、御家族様やご本人と話をしながら計画を作成している。	利用者や家族の意見を聞き、暮らしづくりをもとにミーティング等にて話し合い、利用者一人ひとりについて現状に即したプランになるように担当者会議で作成している。介護計画の見直しは6ヶ月毎に実施し状態が変化した場合は随時見直しており、モニタリングも3ヶ月毎に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践などを通してスタッフと情報共有しながら見直しを図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>必要性に応じて利用者様送迎サービスや病院受診、外出や買い物などの介助行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>合同クリスマス会で、ボランティアの方を招き余興等して頂いた。低料金で地域の美容師に来て頂いています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、御家族から意見を伺った上で、主治医を決定し受診して頂いている。また、掛かりつけ医には状態に応じて十分に連携出来る様に、日曜日でも連絡とって対応して頂くなどしている。往診も行っている。</p>	<p>希望のかかりつけ医への受診支援を行っている。協力医療機関からの往診や24時間対応の医療連携ができている。協力医療機関への通院は、看護師を配置して家族の協力を得ながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の資格を持っているスタッフに相談したり、かかりつけの病院との連携を取りながら健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は病院との連携を取り合い情報交換を密に行える様努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態の変化に伴い、御家族関係者との連携を取りあい、相談しながら今後の対応について話し合う機会を持つ様になっている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応について、本人や家族に事業所でできることを説明している。主治医の意向を確認し、家族と十分に話し合い、連携して対応していく方針である。職員も重度化について、ミーティングで話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングにて、急変時の対応について勉強したり、書面化し（マニュアル化）して、いつでもスタッフが見れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回ほど、火災、地心想事成避難訓練を行い、消防署より避難方法についての実習を受けている。また、地域の方々にも参加をして頂いている。	避難訓練は年2回、消防署の指導のもと、併設のデイサービスと合同で実施している。近隣住民の協力体制もできている。避難訓練を運営推進会議を兼ねて行い、会議出席者も参加し消火器の使用訓練等も実施している。スプリンクラーは設置済みである。非常用の食料等を備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、言葉掛けや対応に気をつけている。スタッフ同士お互いに気をつけ気になる対応をした際は注意し合う様努めている。	排泄支援等の声かけなど、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、人格を尊重したケアの実践に心がけている。居室へはノックや声かけをしてから入室している。利用者に対する言葉使い等、職員がお互いに確認し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた話方や説明を行うように対応している。また、ご本人の思いや希望を生活様子の中や会話を通し、汲み取れる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせた介護を行うという意識を持ち支援を行うように努めている。必ずご本人にどうしたいか聴くようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替える際、本人が望む洋服を選んで着る事ができるよう支援している。身だしなみに無頓着な方に対しては、入浴時などに一緒に準備をする様支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日や行事などのお祝い事にはご本人の要望に添える様に努めている。夏には、中庭などでバーベキュー・そうめん流し、冬は鍋を囲み美味しく食べて貰える様にしている。	献立は、栄養士のアドバイスを受け、利用者の好みも聞き調理している。また、菜園の野菜等を採取し使用したり、食材購入も一緒に買い物に出かけている。誕生日は本人の好みの物にしたり、2ヶ月に1回は外食の計画がある。利用者も下ごしらえなどできる範囲で一緒に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで、楽しく食事ができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事に応じ、食べやすい大きさに切ったり、甘い飲み物にて水分を取って頂いたり工夫をしている。毎回の食事チェック表にて食事量・排便・排尿なども把握出来る様にしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>夕食後には口腔ケアの支援をしている。御本人が出来る方は見守りにて行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックを行い、ご本人のパターンを掴み、その人に合った支援を行える様に努めている。誘導の時間やオムツの使用についても、ミーティングなどで全職員と話し合いケアの統一に努めている。</p>	<p>排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。ミーティングにて話し合い、ケアの統一に努めている。日中は適時に声かけを行い、トイレでの排泄ができるように誘導をして、排泄の自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘傾向にある利用者へ、水分を多く取って頂いたり運動やマッサージを行っている。必要に応じ下剤の服用も行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日設定をして、入浴して頂いている。利用者様一人一人に合った時間帯やご意見などを考慮させて頂いている。	入浴は、週に3回の計画であるが、利用者の希望を尊重している。気分をかえて、隣接のデイサービスの浴室を活用したり、清拭・足浴も行っている。入浴拒否の場合は、職員や時間を変えてみたり、着替えだけでもするようにしている。また、入浴剤など使用したりして気持ちよく入浴できるように配慮しながら個別に支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の思いや様子を極め細やかに伝え、職員はご本人と一緒に支える家族と同様な思いで支援していることを伝えている。状態をみて休息を促したり、夜の安眠を支援出来る様にレクリエーションやドライブなど、昼間の活動に誘ったりしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援としてファイルを作成し、全利用者様の服薬がひと目で分かる様にしてあり、服薬変更時は申し送りにて内容なども全職員が把握出来る様にしてある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌、昼食作り、おやつ作りなど楽しみを通して喜びや昔話に華を咲かせることができ気分転換なども図れる。洗濯たたみで利用者様にご自分の物をたたまれたり、出来ない方の物を代わって下さる様にその方のできる事を支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者様の体調や季節的な事柄で病気の感染症の予防もあり、行事では近場など季節にあった所に行かれ昼食の弁当を自分で選んで職員と一緒に会計をして買い物をした事の思い出・地域のつながりを持てる様に努めている。	日常的には、天気のよい日は敷地内を散策したり、犬との散歩を楽しんでいる。月に1~2回のドライブや外食を計画し、墓参りや自宅訪問等の外出希望には、家族の協力を得ながらできるだけ希望に添えるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は財布・現金は預からして頂いて、必要に応じて職員と同行の元で買い物をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望の時に家族に電話したり（ケアプラン記載）年賀状・残暑見舞いなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を花瓶に差したり、廊下には、楽しんで頂いた行事の写真を展示するなど配慮している。また、なるべく雑音を避けるように配慮している。	リビングは食堂・台所を兼ねており、明るく静かなスペースである。廊下には、行事や外出の際の楽しい写真が飾られている。中庭では、犬との触れあいや散歩を楽しんだり、バーベキューをしたり、菜園を作ったりして、多目的に楽しめる共用空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の席は、会話時トラブルを回避出来る様に利用者様の相性を考えている。不都合が生じた場合は職員で早急に検討し配慮に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の家族説明において自宅で使用されていた物の持込をお願いしている。居室の置物等ご本人の意向に合わせ、配慮する様に努めている。	居室は、ベッドやテーブル・椅子が備え付けられている。家族の写真や本人の使い慣れた家具・仏壇等が持ち込まれ、利用者が安心して暮らせるよう工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の分かる力を生かせるように、待って本人の力を発揮して頂ける様な援助を努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない